第２研究分野での活動例１

看護学×工学

看護学専攻　東辻朝彦

　興味を持っていたが踏み出せなかった工学領域に、当プロジェクトの後押しを受けることで飛び込むことができ、工学を基礎から学んだ。

　工学のゼミへの参加を通じて、心疾患を患う患者の歩行状態を、人工知能を用いて解析することにより、看護師の病状観察を支援するソフトウェアを開発した。
　看護の視点は、医療現場に親和性の高いソフトウェアの開発に貢献した。

第２研究分野での活動例２

看護学 × 文化人類学

看護学専攻　　拝田一真

文化人類学への理解を深めるため，人類学ゼミへ定期的に参加し，ゼミ内での発表も行った。

研究者の学際的思考能力の向上のため，人類学と建築学の研究者を招聘した上で，多領域の院生を対象とした“暮らし”に　関する学内セミナーを開催した。

文化人類学をはじめ，多領域において 探求されてきた概念を核として，訪問看護 実践に関する知見を創出した。

ゼミの風景

開催セミナーのポスター

第２研究分野での活動例３

日本文化論 × 予防医学

人文公共学専攻　髙木悠希

現代日本社会を「共通価値縁」から捉え直すため、予防医学研究室の門をたたき、ゼミに参加した。

自身の研究に社会疫学の観点を取り入れることで、「趣味縁をめぐる包摂と排除」に関する横断的研究を行った。

【共通キーワード】
- 趣味
- つながり、社会関係資本
- 格差
- ウェルビーイング…etc

予防医学センターにて